



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 CS通信No.8 R5.8.18



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

ふるさと学習発表会(鯨ヶ沢中3年生)



7月13日(木)鯨ヶ沢中学校3年生が、ふるさと学習 PHOENIX2023 発表会を行いました。

今回は、鯨ヶ沢町の魅力を全国に広げるための取り組みの一環として、町政策推進課の工藤主事から提案されたオブジェの制作について答える形で発表が進みました。生徒たちは、

- ① 誰をターゲットにするのか
- ② どこに設置するのか
- ③ どんなオブジェにするのか

それぞれの理由を明確にして発表していました。

生徒の感想発表の中に

- ・今まで知らなかったことを知ることができた。
- ・ふるさとの良さを気づかせてもらった。

という発表がありました。

オブジェの考案により、生徒がふるさとの良さを見直すきっかけとなったことがわかりました。

校内相撲大会(舞戸小全学年)



7月19日(水)舞戸小学校で、教科体育と関連したふるさと学習として校内相撲大会が開催されました。この日は、大会の準備、運営、片付けに鯨ヶ沢町相撲協会と五所川原農林高等学校の協力がありました。

五所川原農林高等学校相撲部員は、開会式の後に準備運動の模範を見せたり、実際に相撲をとって見せたりして、子どもたちの関心をひきました。

また、各学級代表児童と相撲を取って見せたりしたので会場が大いに盛り上がり、保護者や地域住民も大喜びでした。

大会の方は、各学年男女別の個人戦が行われ、好取組が続きました。

教職員の鯨ヶ沢ふるさと研修会



7月31日(金)令和5年度「教職員の鯨ヶ沢ふるさと研修会」がありました。

今年度のテーマは、『鯨ヶ沢・歴史と文学の散歩道』で、町教育委員会 中田書矢総括学芸員を講師に、街角の見どころを訪ね歩きました。

鯨ヶ沢町では、小中学生のふるさと学習を計画的に進めており、今回の研修会は、ふるさと学習を進める先生方の予習復習の場となりました。

今回の研修は、旧鯨ヶ沢の港町を中心に、祭りに関連する白八幡宮神社を訪ねたり、北前船に関連する施設や建物を訪ねたりしました。

西海岸地方で唯一の酒蔵である尾崎酒造の屋号が若狭屋であり、初代五郎右工門が若狭国(福井県)から移住してきた船乗りであることを知り、参加者は、北前船の歴史の深さを感じていました。